

五感×情報でじっくり 美術を鑑賞しませんか

涼しくなり始める秋は、何を始めるにもいい季節です。〇〇の秋とはよくいいますが、その中の「芸術の秋」、特に美術鑑賞の仕方の一例についてご紹介します。

1. 五感で見る

五感とは、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のことです。

作品がある空間ごと、五感で感じてみてください。視覚でいうと、色や形に注目することや、作品を見る距離や角度を変えてみたりすることで見え方は変わります。

例えば、近づいてみたり、斜めから見てみたりすることで、絵の具の凹凸やきらめきに気づけます。また、その場の音や空気感、触っていい作品ならば触った感触、匂いもまた作品の一部です。

次に、想像してみてください。もし絵画の中に自分がいたら、どんな音が聞こえてきそうですか。何か匂いは香りますか。登場人物になりきると想像しやすくなります。立体ならば、触ったらどうなりそうかなど、五感から想像してみると、深く作品に入り込めます。



2. 情報から見る

五感で見たあとは、タイトルや解説を読んで作品を見てみましょう。先に情報を知ってしまうと、その情報に引っ張られてしまい、自由に見ることが難しくなります。

解説はもちろんですが、タイトル、時代背景、技法や材料も、作者が何を考えて作ったかを想像するヒントです。情報は作品の見方を広げてくれます。情報を知ってから同じ作品を見ると、新たな発見があるかもしれません。

現代の作品であれば、作者から解説を聞けるときもありますが、友人や家族と感想を話し合うのもまた、別の見方で作品を見るきっかけになります。



3. おわりに

ただ見るだけでなく、五感と情報からじっくり見てみることで、作品の魅力に気づけるかもしれません。この秋は、忙しい時間を忘れて美術を鑑賞してみませんか。

【令和7年度 あいさつ運動における標語コンクール作品紹介

沼田中学校2年生(現3年生))

「挨拶は 関係を開く 第一声」

すみとも ゆうな
住友 結南さん

「挨拶に 言語の壁なし それよりね
心を込めて するのが大事」

さいとう りな
齋藤 莉奈さん

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課 ☎ 35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

